

平成26年度 第3回 家庭教育講座「子どもだてマナビイ」

「親の目が届かない世界を知ろう！」

～ネットトラブルから子どもたちを守るために～



- 日 時 平成26年8月30日(土)10時00分～12時00分
- 場 所 サンフレッシュ山口(山口勤労者総合福祉センター)
- 講 師 KDDI株式会社 ケータイ教室専任講師 大久保 輝夫 氏
- 受講生 大人31名 託児7名



KDDI 株式会社を定年退職後、ケータイ教室専任講師として、全国津々浦々を飛び回っていらっしゃる大久保輝夫先生から、現代のネット環境における「親の目が届かない世界」についてお話いただきました。約1時間半という短い時間にもかかわらず、約100枚ものスライドとともに繰り広げられた弾丸トークによって、インターネットの便利さの裏側にどれほどの危険が潜んでいるのか、様々なネットトラブルから子どもたちを守るために、大人が今、何をすべきなのかを教えてくださいました。参加者の皆さんは、とてもエキサイティングな内容に釘づけとなり、現代の子どもたちが直面している「ネット社会の問題点」について、深く考えておられました。

大久保先生のトークが炸裂!

講座の様子

熱心に受講される皆さん

質問にも丁寧に
答えてくださいました!

講義内容

○デジタルネイティブ(=1990年以降に誕生した子どもたち)

ネット環境が当たり前すぎて、ネットの危険性にあまりにも無防備である。
ネットで知り合った人をすぐに信じてしまう傾向がある。

無防備すぎるがゆえに様々なトラブルが生じている!

リスク教育が
不可欠です!

※インターネットは、世界中の誰とでもつながる大変便利なツールだが、無法地帯でもあり、未成年者のインターネット利用には危険がいっぱい。利用はすべて自己責任のもとに成り立っている。

○ネットトラブルについて

子どもたちに伝えるべき！
**「写真を送って」
の言葉は
危険サイン**

子どもたちに一番身近で危険な事例は、写真や動画を安易にネット上に流してしまうことによるデジタルタトゥー（＝電子的刺青）です。一度ネットに流れてしまった情報は、半永久的にネット世界から消すことはできません。



ネットで、悪意のある大人と知り合ってしまうことがあります。

その他にも様々な問題が生じています。

- ▷ チャット機能、ネット掲示板などでエスカレートするいじめの問題
- ▷ 子どもたちの性的被害につながってしまう「出会い系」、「アダルトサイト」、「児童ポルノ」の問題
- ▷ 無知や不注意によるワンクリック詐欺
- ▷ 野良^{のら}アクセスポイントの利用
 - … セキュリティのかかっていない全国いたるところにある無線 LAN。発信者が特定されないため、爆発予告や脅迫メールなどに利用されてしまうこともある。また、悪意のある LAN 設置者により、知らない間に個人情報抜き取られる危険性もある。
- ▷ マジコン（＝マジックコンピューター）
 - … 違法コピーしたゲームソフトをゲーム機上で動作させるための機材。大人が気づかない間に、子どもが入手しているケースがある。
- ▷ ゲーム依存
 - … 終わりのないゲームや、現実世界にはない達成感にハマる。オンラインゲームに参加しないと仲間はずれにされるのではないかという恐怖心から、やめたくてもやめられないケースもある。ゲームのやりすぎによって、視力低下や寝不足による健康被害、他に何もやる気が出ない、引きこもりなど心身の問題に発展することもある。⇒ ネットゲ（ネットゲーム）廃人
- ▷ すれちがい通信機能
 - … 同機種の携帯ゲーム機を電源を「ON」の状態を持っていることにより、たまたますれちがった見ず知らずの相手と通信ができる機能。電波が届くのは、数mから数十mの範囲内。人があまりいない場所での通信や、通学などで何度も同じ場所、同じ時刻に利用していることにより、個人を特定されるケースがある。
- ▷ 料金トラブル … クレジットカードを利用した決済トラブル

できる限り、子どもには、「知らない人とは、つながせない」
ください。

「ネットゲ廃人」
ゲームの主人公を自分と重ね、空を飛べると信じて転落してしまったり、ゲームのアイテム代金を支払うために、借金を繰り返したりする人たち。

○ネットトラブルの原因となる機器



ほとんどの機器で、Webサイトの閲覧や、SNS、チャット機能など、パソコンやスマホと同等の利用が可能。

親の目が届かないところで、子どもたちは日々ネットの危険にさらされている！

○子どもたちを守るために保護者がすべきこと

- ▷ インターネットは、使い方を間違えると大変危険なものであることを子どもに正確に教えましょう。
- ▷ ペアレンタルコントロール…子どもの情報機器の利用を保護者が制限し管理する考え方
 - … ゲーム機などには、必ずペアレンタルコントロール機能が搭載されています。ゲーム機を購入したら、そのまま子どもへ渡してはいけません。フィルタリングやパスワード、各種制限の設定を行ってから子どもに渡してください。ネット機器は、費用を負担している親の持ち物であることをわからせ、パスワードは時々変更しましょう。
- ※ フィルタリングは、ゲーム機本体に設定してください。自宅外での無線 LAN (WiFi) で接続時にも有効となります。
- ▷ ファミリールールを作る。
 - … 家庭においてゲーム機を利用する時のルールがある子どもは、ゲームトラブルの被害者・加害者になりにくいことがわかっています。

○大久保氏からのメッセージ

分別のある大人なら、子どもの前でスマホやケータイ、ゲームにハマる姿をどうか見せないでください。

幼児にスマホのブルーライトを長時間見せるのは、大変危険です。

便利だけを求めず、自分の頭で考えることを忘れないでください。

親子のコミュニケーションを大切にし、子どもの規範意識を育てましょう。



「愛情」の反対語は「無関心」です。

マザーテレサの言葉より

ファミリールール作りのポイント

- ① 小さく具体的で守りやすいルールを！
(例えば、「夜 9 時以降はゲーム機を親に渡します。」など。)
- ② 子どもにルールを宣言させましょう！
(ルールを守る意識は、自分で宣言するからこそ意味がある。)

★子どもに決意をさせる

- ③ ルールを二重構造にしておきましょう！
ルールを守れなかった場合のルール (=メタルール) を決めておく。罰則ではなく、約束を破ったときに自ら責任をとるためのもの。例えば、「1 週間、ゲーム機を親に預けて使いません。」など。

ゲーム 親子の約束 (例)

- ① ゲーム機にはインターネット機能があり、パソコンに近いので、親の持ち物であることを、いつも忘れない。
- ② ゲーム機を購入したら、まず親に、説明書の「保護者による使用制限」のページを見せ、親の指示に従う。
- ③ ゲームを使っているのは、夕方△時から△時まで。
(△は親子で相談して決める)。夜ふかしはダメ。
- ④ ゲームソフトは、年齢制限を守る。
(例：小学生は、12 歳以上の対象ソフトは×)。
- ⑤ ネットと接続したり、e ショップで購入したりしない。
- ⑥ 写真や画像・音声・動画・長文テキストの送受信をしない。
- ⑦ 他のユーザーとのインターネット通信をしない。
- ⑧ ゲーム機なしの生活もできるように、親と相談してゲーム機を使わない日を一週間に〇日作る。
- ⑨ 約束を破ったらゲームを親に一週間預ける。
(メタルール)



受講生の方からいただいた貴重なご意見の一部を紹介します

- ▷ 知らないことが多すぎて、今までは子どもとインターネットの話をするのを避けてきてしまいましたが、今日、勉強させていただいて、家族でしっかりと話し合おうと思いました。
- ▷ 思っていた以上にディープなお話に引き込まれてしまいました。もっと、小中学生や高校生にもしっかりと聞かせて教育してもらえたらと感じました。私は、子どもがゲーム機をほしがっても与えずにやってきました。しかし、デジタルの波は容赦なく私たちの生活を侵食していて、避けては通ることはできないのだな…と心が重くなってしまいました。しかし、心を離すことなく子どもに寄り添っていけたらと思いました。ありがとうございました。
- ▷ 知らない言葉がたくさん出てきて、どんどん世界が広がっているのだと思って焦ってしまいました。子どもたちの方がよく知っているので、つつい任せてしまいますが、親の方もしっかりと知識と「興味・関心」をもちたいと思いました。ルールの大切さがよくわかりました。常に危機感をもっていたと思います。
- ▷ 「仲間はずれになるから」の一言にひっかかってスマホを持たせましたが、その重大性に気づくことができました。子どもと話し合っていこうと強く思いました。大変、勉強になりました。
- ▷ 自分自身、スマホを持って1年以上経ちますが、まったく使いこなせていないにもかかわらず、高学年になる子どもたちはどんどん情報を得ている状況です。今日の講座は、自分のタイミングにあった大変ためになる内容でした。
- ▷ 具体的なソフトや具体的な名前が出てきて、とてもわかりやすかったです。今はガラケーを持っていて、今のところスマホに変える予定がなく(子どものためでもあります)、スマホの内容もわかってよかったです。
- ▷ 子どもがLINEをしたがったり、3DSをネット接続したがりしていたので、勉強になりました。
- ▷ とても素晴らしいお話を聞かせていただき、受講してよかったです。ゲーム機がどれほど危険なのかということがよくわかりました。本当によい勉強になりました。ケータイのことで、子どもの前で親がよい見本を見せなければと思います。
- ▷ 大変ためになるお話で参加させていただいてよかったです。自分の知らないことを知ることができて勉強になりました。機会があれば、小学生と親が同時にこのようなお話がうかがえる講座があれば、子どももスマホやゲーム機の危険性がどれくらいあるのかが理解でき、家庭で話し合うことが比較的、楽にできるのでは…と思いました。

御協力ありがとうございました

